

1-3 山田頭義書簡(伊藤博文宛)

拝展

明夕ハ高輪御邸ニ

御出候ニ而、幸ニ仲秋望

月恰好ニ付、御招被下

難有欣承必参上可仕候、

如斯此暴風ニ而ハ外

務大臣も嘸困難ニ

被察申候、何も明晚期

拜晤、草々不宣頓首

九月十一日

(奥封ウハ書)

「総理大臣殿 頭義」